

令和6年度 9 月 定例教育委員会会議録

令和6年9月17日(火)

山梨市教育委員会

令和6年度9月 定例教育委員会 議事録

令和6年9月17日(火)午前10時から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の署名
- 4 報告事項
- 5 協議事項
- 6 連絡事項
- 7 閉会

○出席者

教育長	嶋崎 修
教育長職務代理人	天野 有紀
教育委員	原 喜雄
教育委員	相沢 季里

○欠席者

教育委員	窪田 新治
教育委員	鈴木 徹

○事務局職員出席者

学校教育課 課長	磯村 賢一
学校教育担当 教育監	小串 吾郎
学校教育担当 指導主事	内藤 健
学校総務担当 リーダー	大畠 芽久美
学校総務担当(議事録作成者)	小田切 咲紀
学校教育担当 リーダー	前嶋 裕樹
学校管理担当 リーダー	高原 あゆみ

生涯学習課 課長	武井 学
生涯学習担当 リーダー	廣瀬 ひろみ

4 報告事項

(1) 9月議会答弁について

学校教育課長・生涯学習課長 説明

教育長

何か質問等あるか。

原委員

部活動地域移行の答弁内容の③のところに、「文部科学省では学校の教育活動から部活動を切り離す方向性を示しており、本市においても平日の部活動と休日の地域クラブ活動は別のものと位置づけている」とあるが、本市の野球部については、一つの学校ではチームが成立しないため北中と南中が合同のチームとなっており、平日の部活動は各自校で練習し、休みに集まって練習という状況が考えられる。そういう場合はどう考えるか。

教育長

例えば、南中で野球部に入っている子が休日そのままその地域の合同練習の野球部に入るということではなく、学校の平日の部活動は野球をやっているが、休日はブラバンの楽器の演奏をやりたいから地域にある音楽のクラブ、ブラバンみたいなものに入りたいということが可能で、野球イコール野球ではないという感じである。

原委員

平日と休日を繋ごうと思っではないということか。

教育長

強制的に繋ぐものではない。部活動は月曜日から金曜日まで指導者は先生で、学校でやる。土日に部活がなくなった子どもたちが駅前にたむろしているとか、コンビニ

で遊んでいるのは困るから、そういう子どもたちのために地域クラブ活動を始めようということである。20 のクラブ活動をイメージしていて、今学校のクラブ活動にあるもので 15 種類ぐらいは、野球とか卓球やソフトテニス等、あとの 5 種類ぐらいは文化的なもので、ブラバンやコーラス、今流行りのダンスだとか、そういうものも地域クラブとして作れないだろうかというところを学校の方には話しているところである。

原委員

まったく繋げないということか。

教育長

文科省でも働き方改革の一環として、定時より 15 分や 20 分長いだけではないから、思い切った改革が必要だと言っている。そのために、休日の部活動をまず学校から切り離すという方向性を進めているということである。

他に質問があるか。またご意見の方は後半の協議の中でいただきたい。

(2) 県外交流事業について

生涯学習課長 説明

教育長

交流キャンプについて何かご質問ご意見いかがか。

天野委員

感想になってしまうが、昨年度次女が参加させていただき山口の方に行かせていただいた。初めての参加だったので勝手もよくわからず、ただ山口に行ってみたいという思いで参加をしたが、今年度はその恩返しの気持ちも込めて、リーダーとして参加させていただき、新たな経験や発見をしてきた様子があった。息子も参加させていただいた

が、息子は本当に初めてだったので、一つ一つ経験としてできたことが、一回一回で終わってしまうともったいないなと感じていて、せめて2回ぐらい繰り返し参加する中で、子どもたちがその交流の中で担える役割だったり、成長が見られるのではないかということを感じつつ、2回参加してしまう子どもがいることで多くの子どもが参加しづらくなってしまうこともあるかと思うので、その辺は迷いながら応募した。

教育長

他にいかがか。

主な課題として、美祢市は子供クラブ連絡協議会研修部主体であり、こういう組織が事務局から乖離し、事務局の傘下になくやっている。今回も何か要望しても市が統括できていないから、「それはわかりません。その市民クラブの代表に聞いてください」という感じで戸惑いがあった。20 何年やっている中で形も変わったり、メンバーも変わったり、あとはこの距離的なものもあったりする中で、根本的に考えていかないと、看板は美祢市と山梨市の交流となっているが、蓋を開けてみるとそれぞれがバラバラで、団体同士でやっているようなところが課題かなと思っている。その背景には、やはり先ほど天野委員が言ったように、より多くの子どもたちに貴重な経験をさせてあげたいという考えがあり、市としてもその辺をもう何年か前から提案して、課題を改善して方向性を検討しているが、なかなかそのあたりのすり合わせが難しくなっているというところが正直なところである。よろしいか。

(3) その他

・8月教育委員会で出された質問について

内藤指導主事 説明

①全国学調の受験者の割合について…資料のとおり

②生活アンケートのいじめの実態把握において、生活習慣や家庭環境が整わない場合、庁内関係各課と連携を図っているか。また本事案の状況を教えてほしい。・・・2ヶ月に一度、庁内指導支援会議等を実施して、庁内でも関係各課で連携を図っている。また、庁内で情報共有を図る中で本事案については、家庭の所得上の問題ということもなく、ネグレクトでもないということを確認もしている。

③いじめの加害児童へどういう指導をしているか。・・・学校の指導時には、必ず加害・被害両者へ丁寧な聞き取りを行い、なぜいじめをしてしまったのか、加害児童の学校生活での行動や家庭環境もしっかり捉えた上で、指導をしている。

教育長

この件について意見等あるか。

原教育委員

通級教室の子どもたちはどんな受験状況か。

内藤指導主事

通常学級の子なので普通に受験している。

・8月の落雷被害について

学校管理担当リーダー 説明

8月の初旬に、落雷により山梨小学校、日川小学校、山梨南中の3校で被害があった。

山梨小学校・・・電話設備の不通、ファックスの不通、ネットワーク機器数台故障、セ

キュリティセコム不具合、プールの配電板がショート

日川小学校・・・プログラムタイマーの機器故障

山梨南中学校・・・ファックスの不通

教育長

同じような雷が発生するという可能性があるが、今後の対応について何か考えているか。

学校管理担当リーダー

ネットワーク機器に関しては、業務終了後に元栓を抜いていただく。

教育長

同じような状況が続くことも考えられるので、しっかり対応をお願いしたい。

5 協議事項の内容

教育長

議事に入る。(1) 9月議会答弁について

先ほど説明いただいた内容について意見があればお願いしたい。

相沢委員

先ほど出た部活動のことだが、私はこのやり方はとてもいいやり方だと考えている。高等学校でも部活動でいろいろな問題が起きているが、高等学校は義務教育ではないので少しゆるい感じにはなる。これからは本当に子どもも数がガクッと減っていくが、子どもの中には色々なものに興味を持って、そしてそういうことをやってみたいという子どもがいる。しかし、文科省も部活動は教育基本法が出た時からカリキュラム外・教育課程外の活動ではあるとしながらも、子どもの人格形成のためには必要であるという認定をしている。だから全くこの学校教育の中から切り離すこともできない。けどもニ

ーズはあるというところで、この山梨市の取り組みは学校でもできる範囲の中でやっていく。で、外にもそういう機会を提供していく中で、もしかすると、その部活動が、本当に地域のところに行ってしまうかもしれないし、学校の方に戻るかもしれないしというところで、こういう試みをやはりやってみないと今後どうなるか分からないので、今いる子どもたちを大切にしなければならぬという点でこの取り組みはとても素晴らしいと考える。応援をしているので、ぜひ頑張ってください。

教育長

他にいかがか。

原委員

私も全然頭が切り替えできないというのが正直なところだが、今言ったその方向性や見通しみたいなところを今指導している方も含めて示していただければ、最後の方に拠点を定めて指導を行えるようになって、大きな道筋が指導者にもできれば、指導者も喜んでやるのではないかと思った。

教育長

訪問の日程等について説明をお願いしたい。

生涯学習課長

学校もその指導されている先生の集まりがあるようなので、そこにまずは出向いて、先生方のお考えを聞く中で共通認識を深めていきたいということで会合を予定している。

天野委員

部活の地域移行について、先ほど他地域で体罰があった例もあって慎重にとお話があったところだが、安全対策は体罰だけではなくて、特にその中学生という年齢だったり、色々な所から人が集まって行うというところから見ると、性犯罪に対する対策は絶対必要だと思う。性被害に関しては声を上げづらいという特性があって、指導者の男女のバランスであったり、それに対する子どもや保護者からのアンケートや指導者に対する評価だったり、その点も慎重に取り組んでいただくと、子を持つ親としては安心できる。学校の先生だとある程度顔も知っていたり、こういう先生だよという情報も入ってくるが、地域クラブとなった時に、本当によく知らない方に子どもを預けるということに安心できるかなと感じている。

生涯学習課長

性的な犯罪、嫌がらせ、体罰、パワーハラスメント、そういったものは潜在的なリスクであるというふうに認識しており、危機感をもって、しっかり対策していく。

教育長

なかなか性被害のことは話題にしづらい時もあったりするが、朝日でも特集を組んでいるように大きな問題だと思っている。先ほどの県外交流についても、教員をカウンセラーとして入れたのは年頃の小学校高学年から中学生が宿泊を伴う行事をするのに、指導者に全く誰なのかわからない人を入れてその人に任せていいのかというところがあったので、本市では教員を有償でお願いして指導に当たるようにしている。このことは市としても常に気をつけなければいけないと思っている。

他にいかがか。

教育委員

なし。

教育長

次に(2)その他、何かあるか。

教育委員

なし

教育長

以上で議事を終了する。